



2021年11月4日
 聖心女子学院初等科
 校長 大山 江理子
 11月号

ハイチの方々への祈り 私から私たちへ

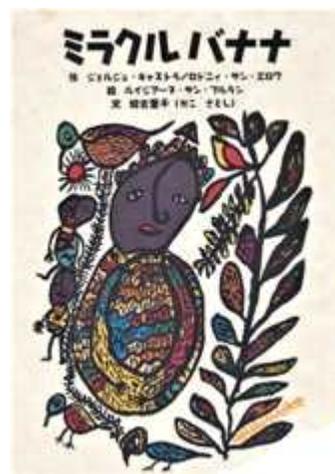
校長 Sr. 大山 江理子

急に季節が進み、空気の冷たさを感じるようになりました。少しずつ正門前のイチョウも黄色く色づき始めています。

コロナ感染は一応落ち着きを見せており、学校では児童の活動を少しずつ広げようと考えています。これまで通り感染防止には留意し、実り多い学校生活を続けられるよう努めてまいります。

初等科の各教室には、「ハイチの方々へ」という祈りの掲示がなされています。ピンク色のハート型の紙にハイチで地震被害に遭われた方のために祈りが書かれています。10月に実施したハイチの緊急支援募金の活動の一環です。ご協力いただきましてありがとうございます。ハイチは地球の反対側にある小さな島国で、大変遠い国です。テニスの大坂なおみ選手のお父様の国であることから親しみも深くなりましたが、日本においてハイチに出遭う機会は限られています。

児童会の前期三役の児童たちが今回のハートの祈りを企画したということで、3人から話を聞きました。ハイチデーは行事として定められて行っていますが、今回は地震という災害に際して行うことを決めたので、児童会として地震の動画を作り、状況を知らせて、自分たちにできることは何かを考えてもらったこと、また上級生では出来事について知ったり、調べたりすることもできたことにより、寄付の目的を具体的に想像しやすかったのではないかと話をしてくれました。この子どもたちの言葉にあるように、自分から知ること、そして、知ったことについて、なぜそうなのかと考えることは、祈ることと共に大切です。これら2つのことが同時にあって、ハイチが近くなります。



そんな折、中高の図書館で「ミラクルバナナ」という絵本を見つけました(2001年 学研)。個性的なタイトルと表紙にひかれて思わず手に取って見たところ、不思議な手触りのする紙の絵本でした。その紙は何と、ハイチのバナナの繊維から作られたバナナペーパーでした。ハイチの自然の豊かさや独自のアートに触れることのできる本です。現在バナナペーパーによる製品は封筒や包装紙、名刺用紙などを求めることができますが、残念ながらハイチではなくアフリカの国で生産されているようです。

SDGsの17番目にはパートナーシップが挙げられています。繋がりがなければ世界の課題は解決されません。自分のことだけではなく、自分の身の周り、そして世界に視野を広げ、知り・祈る、支え合い助け合う、共に生きることをこれからも初等科では大切に実行していきます。「私から、私たちへ」と進んでいきます。



心を育む言葉

生活指導主任 橋本 太治

後期が始まり約一ヶ月が経ちます。友達や先生との関係も深まり、よりお互いに交わす言葉が増えてきました。子ども達は生活の中で、友達を使う言葉、大人が使う言葉、本で見た言葉、新聞やテレビで見聞きした言葉など、様々な言葉に触れて過ごしています。

子ども達の目指す姿に「自分の考えをもつ」「自分の意見を相手に伝える」という姿がありますが、それを支える力のひとつに語彙力があります。語彙力は、上記のような場面で言葉に触れていくのと同時に何らかの形で言葉にして表現し、実際に使うことで確かなものになります。学習であれば、文を読み、新しく出会った言葉の意味を調べたり、習った言葉や文法を実際に使って話したり、例文を作ったりすることで自分の力にしていきます。

一方、日常生活において相手と意思疎通を図るための語彙はどう身につけていくのでしょうか。ある程度の基本的な日常会話は家庭や学校の中で教わりますが、子ども達が誰かと意思疎通を図る中で出会う場面は習った通りにいかないことも多いです。上手くいったことももちろんですが、思った通りにいかない時にどう話したら良いか、どう話すと良かったか考えることは語彙を広げる大切な学びの機会にもなります。学校ではこうした機会に、より良い伝え方を指導することで言葉の選択肢や使い方を示しています。そうして悩んだ中で辿り着いた言葉を心に刻めるかどうか、大人の立場からするといかに心に刻んであげられるかが大事になります。壁に向き合う中で自分が今何を考えたり感じたりしているのか、何を伝えたいのか、それらを形にするのは全て言葉です。言葉を知っていくこと、語彙を増やしていくことは、自分の心や頭にあることを整理できるようになることにも繋がります。今の自分の思いや考えに相応しい言葉を見つけ選べるようになっていくことは、自身の心の整理、すなわち心の平穏にもなります。そして、自分の思いが整理できるようになった時、より相手の思いも汲み取れる豊かな心へと育つ確かな一歩に繋がります。言葉を学ぶということが、自分の思い、相手の思いを知ることになり、いかにその人の心の落ち着きと知性を与えるか、改めて気づかされます。

聖心で大切にしている祈りには、日々の出来事で塗り替えられていく自分の心をふり返し、祈りの言葉にすることで「今大切なことは何か」を心に言葉で刻みまた歩み直す、そのような一面があると思います。ご家族や教員、友達と何気なく交わす楽しかったことや驚いたこと、悩んでいることといった話題は思い出しながら言葉にし合うことで心に刻まれます。日記や作文で思いや考え、出来事を細かくふり返し書き記すことも同様です。こうした日々溢れる言葉の可能性を見つめ直し、交わし合う言葉の温かさをより味わいながら、この後期を子ども達と歩んでいきたいと思っています。

11月の行事予定

1日(月)	初等科入試・家庭学習日	17日(水)	2nd 講演会
2日(火)	家庭学習日	18日(木)	聖フィリピン・デュシェーン祝日
3日(水)	文化の日		1stお祈り会・講演会
5日(金)	5年遠足・2、3年ゆり組遠足	19日(金)	5年英単語検定(4限) 6年進学説明会(6限・親子)
8日(月)	1年・転入・編入生保護者会	21日(日)	聖心会創立記念日
10日(水)	4年社会科見学・遠足	23日(火)	勤労感謝の日
12日(金)	2、3年ばら組遠足	29日(月)	6年CW練習
15日(月)	～26日(金) 参観日ウィーク	30日(火)	作文発表会
16日(火)	6年まどめのテスト② 久我山青光学園との交流 (放送もゆる)		